

# 学校の働き方改革講座

## —新しい放課後とクラブ活動—

日本の教育は、まさに転換点にあります。「教師主体から、生徒主体へ」。このようなメッセージをお伝えする機会は多々あります。しかし、それをどうすれば実現できるのでしょうか。

コロナ禍により、「学校の働き方改革」が話題になる機会は減っていると感じますが、実際にはコロナ感染への配慮や対応で従来になかった業務が加わり、現場の教職員の負担感が高まっていると伺うことがあります。

一方で、これまでは考えたこともなかったコロナ禍でのクラブ活動の停止は、主役である生徒だけでなく、顧問・指導業務を担ってきた教師の意識にも変化をもたらしたのではないのでしょうか。

→生徒にとって本当に意義のあるクラブ活動とは？

→顧問・指導を担うのは教師であるべきなのか？

また、加速したICT機器の普及とその活用方法の試行錯誤は、“個別最適の学び”追求への環境整備という一面があります。この使い方によっては便利な道具は、授業はもちろん、朝、放課後など、学校時間すべてに関わり、特に「放課後」の学び・活動に多様な選択肢を創る一助になるでしょう。

→新しい「放課後」の中で、「クラブ活動」はどう展開されていくのか？

本講座では、「学校の働き方改革」の本質と課題を改めて考察し、多忙を生む構造の解決策を思考します。

続けて、先行事例の研究・解説とあわせて、ご参加いただいた皆様とともに、「新しい放課後とクラブ活動」の展望を語り合う機会としたいと考えています。

★本講座は会場参加、オンライン参加併用講座です★

11月27日 土 14:00～16:00

費用

11,000円/1人 (税込)

※私学マネジメント協会の会員校は、3名様まで無料となります

講座内容

- 考察 「学校の働き方改革」本質と課題
- 先行事例研究 クラブ活動顧問・指導業務の外部委託推進
- ディスカッション 「新しい放課後とクラブ活動」の展望
- 質疑応答

対象：学校法人の経営陣・管理職・事務長、クラブ活動運営、教職員人事に関わる皆様

講師



嘉村 謙一郎

コアネット教育総合研究所  
神戸研究室 室長

リクルートグループにて、営業職に従事。その後、シンクタンク、経営コンサルティング会社において企業の経営課題に関わる各種プロジェクトや教育研修に従事。2009年にコアネットに入社し、2013年より関西担当。組織人事領域、募集力・教育力開発、教職員研修等を担当。顧客最優先をモットーに、現場重視の課題解決支援を日々実践している。

会場

新宿NSビル 3F 3-1

(JR新宿駅 南口・西口より徒歩3分)

オンラインライブ配信ツール

Zoom

- グループワークがございますので、カメラ・マイク機器を使用できる状態でご受講ください。
- パソコンでの参加を推奨します。

## ■ お申込みについて



左のQRコードまたは下記のURLから**私学マネジメント協会**のホームページにアクセスし、「**セミナー申込み**」へ進んでください。  
申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

私学マネジメント協会      <https://school-management.jp/>

受付完了後、ご入力いただいたメールアドレスに「受付完了メール」が自動送信されます。  
数時間たっても受信しない場合は、お手数ですが、再度お申込みください。

## ■ ご請求について

開催終了後に、受講料の請求書をお送りします。(会員校は無料)  
期日までにキャンセルのご連絡がない場合は、受講料を請求させていただきます。  
(詳細は受付完了メールをご参照ください)

## ■ 感染症対策について



会場開催時における当協会の感染症対策につきましては、当協会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

講演会・各種講座・研修開催時における感染症拡大防止策について  
[https://www.school-management.jp/service/lecture/guideline\\_event.php](https://www.school-management.jp/service/lecture/guideline_event.php)